

1. 事業の位置付け

事務事業名	中心市街地にぎわいアップ事業		
事業担当	経済部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'01	1 人々が集まり、にぎわいと活気にあふれる街づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	TMO、中心街イベント実行委員会等	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： TMO、イベント実行委員会等】		
	目的・目標		事業の概要
中心商店街でイベントを開催することにより人が集まり、中心市街地がにぎわっています。		中心商店街のにぎわいアップのため、ショッピングモールや紅谷町まちかど広場で行うイベントや活性化を進める組織に対して支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	中心商店街でのイベント開催回数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	67	67	67		
	実績	69	64	76		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	イベント開催による来街者数			単位	人
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	135000	135000	135000		
	実績	131664	133600	126300		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	中心商店街の活性化を図るために、イベント等の事業を実施する組織への支援は必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	イベント事業を継続し、中心商店街に賑わいと創出を図ることは有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心商店街の賑わいと創出を図るために、イベントの実施は妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来的にTMO独自で事業の収益による事業展開への転換を図るよう指導が必要です。	○ 高 ● 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		各種イベント、活性化組織への支援	各種イベント、活性化組織への支援	各種イベント、活性化組織への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	9,900	11,100	9,610
事業費 (A)		9,900	11,100	9,610
執行率 (%)		86.84	97.37	84.30
内訳	職員 (人)	0.60	0.60	0.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,035	5,035	6,267
フルコスト (A+B)		14,935	16,135	15,877

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -
	主な取組と成果	中心商店街の活性化を図るため、TMO機関にTMO運営費と空き店舗を活用し食文化の発信拠点を目指す「手づくり食工房」事業、七夕祈願和歌飾り及びうまいものマップ事業について補助した。また、ショッピングモールや紅谷町まちかど広場で行うイベントへも支援し、中心商店街のにぎわいに寄与した。	ショッピングモールや紅谷町まちかど広場で開催される各種イベントや活性化を進める組織に対して支援し、にぎわいアップと販売の促進を進めました。	中心商店街のショッピングモールや紅谷町まちかど広場で開催される各種イベントや活性化を進める組織に対して支援し、中心市街地のにぎわいアップと販売の促進を図りました。
検証結果		A: 成果があがった	A: 成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		総合評価は高いが効率性の部分でTMOへの補助については、将来的にTMO独自で事業の収益による事業展開への転換が図られるよう指導する必要がある。	総合評価は高いが効率性の部分でTMOへの補助については、将来的にTMO独自で事業の収益による事業展開への転換が図られるよう指導を行います。	市民とのふれあいを促進し、商店会が行う交流事業や販売促進活動事業への支援及び中心市街地の活性化を進める組織を支援するため、平成22年度からは商店街にぎわい創出事業として、事業を継続します。

1. 事業の位置付け

事務事業名	新しい七夕まつり創出事業		
事業担当	経済部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'01	1 人々が集まり、にぎわいと活気にあふれる街づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか七夕まつり実行委員会	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
市民参加による新たな七夕まつりが創出され、市内の観光事業の活性化が図られています。		観光振興のため、市民参加による竹飾りの充実などにより、新しい七夕まつりを創出します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	七夕ボランティア募集の周知手段数			単位	件
	説明・算定式	七夕まつりホームページ・広報紙・SCN・ローカル紙				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	1	3	5		
	実績	1	3	4		
活動指標②	指標名	七夕まつり周知ポスター、はがき配布枚数			単位	枚
	説明・算定式	はがき・宣伝ポスター・交通規制図・行事プログラム・会場案内図				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	274000	280000	282000		
	実績	274593	212738	213787		
成果指標①	指標名	七夕ボランティア参加者数			単位	人
	説明・算定式	自主清掃活動団体・案内所、クリーンキャンペーンクリーンタイム、七夕道案内				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	750	800	850		
	実績	758	910	925		
成果指標②	指標名	七夕まつり市民協力・子ども竹飾り参加団体数			単位	団体
	説明・算定式	市民飾り・子ども飾り				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	50	55	60		
	実績	50	51	48		

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民との協働の推進と市内の商業振興及び観光PRのために必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	飾りの掲出をはじめとして市民との協働を継続的に推進することにより、七夕まつり開催への関心を深めるために有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>■ 受益者負担、補助額</li> <li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	日本の代表的な七夕まつりとして定着しており、商業の振興と観光の活性化のために七夕まつりを継続することは、妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>■ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民による自主警備や自主企画及びボランティア参加の仕組みづくりを進め、無駄のない運用により、経費の節減と効率的運営を進めていくことが必要です。	○ 高 ● 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		七夕まつりの開催	七夕まつりの開催	七夕まつりの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	68,000	67,000	66,000
事業費 (A)		68,000	67,000	66,000
執行率 (%)		100.00	98.53	97.06
内訳	職員 (人)	3.75	3.75	3.05
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		31,467	31,467	25,486
フルコスト (A+B)		99,467	98,467	91,486

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	②: 若干遅れている 行事プログラムと会場案内図の統合で作成部数を削減し、経費削減と配布効率化を図ったため
	主な取組と成果	市民飾り、子ども飾りの掲出・環境接遇委員会等のボランティアによる会場内でのクリーンキャンペーンの支援を行い、一定の成果をあげた。	第58回の七夕まつりは、洞爺湖サミットの開催と日程が重複したことから、警備の負担を考慮し、イベントの縮小や県外などへのポスターPR等も縮小するとともに、市民生活の影響等を考慮し、交通規制の一部変更をしました。市民参加の促進策として市民飾り、子ども飾りの掲出・環境接遇委員会等のボランティアによる会場内でのクリーンキャンペーンへの支援を行い、一定の成果をあげました。	第59回の七夕まつりは、新たに紅谷パールロードの終日交通規制を行いました。前回に引き続き、市民生活の影響等を考慮し、夜間の交通規制を解除しました。また、市民参加の促進策として市民飾り・子ども飾りの掲出、環境接遇委員会等のボランティアによる会場内でのクリーンキャンペーンへの支援を行うとともに、洞爺湖サミットの開催の影響により前回縮小した平日の野外ステージなども、新たに公募により市民参加を募り実施し、一定の成果をあげました。
検証結果		A: 成果があがった	B: おおむね成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		更に市民参加を促進させ、自主警備を拡大していく必要がある。	次年度は第60回を向かえるため、記念行事等を開催をすることとなりますが、第61回以降の開催に向けて経費、安全、環境、豪華な飾りの継続掲出、開催場所周辺の居住環境の変化などを踏まえ、今後の七夕まつりのあり方を見直す必要があります。	平成22年度は、前年同様の規模での開催をする見込みですが、七夕飾りの減少などをはじめとして、第61回以降の開催に向けて経費、安全、環境、飾りの継続掲出、開催場所周辺の居住環境の変化などを踏まえ、今後の七夕まつり全般を検討する必要があります。